

実りの秋、各地で収穫体験

米づくり体験



▲稲刈り体験 (広田小学校)

さつまいも収穫体験

伊加利地区と神代地区で子どもたちがさつまいもの収穫体験で交流、秋の味覚を味わいました。

伊加利地区公民館を拠点に活動する「子どもの居場所づくり自然科学コース」の子どもたちら四十人が十月九日、さつまいもの収穫で交流を深めました。



▲収穫した芋を運ぶ子どもたち (伊加利)

収穫後、芋の植え付けや管理などでお世話になった同地区老人会の方々を招き、ホクホクの焼き芋や天ぷらなどにして昼食を楽しみました。

農業や「食」を理解し、親しみを深めてもらおうと、兵庫県と南あわじ市が実施する「いきいき農作業体験事業」が、広田・倭文・松帆・市・北阿万小学校で行われ、児童が地元農家の田んぼで、田植えや稲刈りなどを体験しました。



▲さつまいもに歓声をあげる園児ら (神代)

十月十二日には神代保育所近くの農園でも恒例の芋掘り大会が行われ、同保育所の三歳から五歳児八十五人と神代小学校の一年生の児童二十二

ちわびた様子。児童は田んぼの所有者の奥野忠さんから鎌の使い方を教わり、手作業で一株ずつ刈り取っていききました。

刈り終わった後には、県農業改良普及センター普及員の中田佳克さんから、お茶碗一杯分の稲穂の量や、台風が来た時の対処法など、お米の育て方について話を伺いました。

児童らは「鎌を使うのは難しかったが、楽しかった」「ご飯を作るのは大変だとわかった」と話していました。

人が交流しました。さつまいもは、同保育所保護者会長の佐藤重朝さんの畑に園児らが三百本の苗を植え育てていました。この日は、佐藤さんに手伝ってもらい、子どもたちは芋を次々に掘りあげ「おっさ、おっさ、でかいの掘れたよ」と歓声をあげていました。収穫した芋は、保育所の給食の材料やおやつとして使われ、持ち帰った芋も収穫の喜びを家族で味わう「食育」の材料となりました。

服部嵐雪 二百年忌の句碑を除幕



▲俳人・服部嵐雪の300年忌の句碑

榎列公民館敷地に句碑建立

南あわじ市にゆかりの深い俳人・服部嵐雪の三百年忌を記念して榎列公民館敷地に句碑が建立され十月十三日、関係者ら約五十人が出席して除幕式が行われました。命日のこの日には、句集も発行され、来年には記念展示や講演会も予定されています。

嵐雪は一六五四年、旧小榎並村で生まれたと伝えられています。「梅一輪いちりんほどの暖かさ」の俳句で知られる江戸時代の俳人で、松尾芭蕉に入門「蕉門十哲」の一人。

浜辺に散りばめられた夜空の星

神代小学校天体観測ドーム再建準備会(木田徹代表)が、十月十四日、「星空と海ホタル」の観賞会を伊弉うずしお村で開催し、親子ら約四十人が参加しました。

海ホタルは、太平洋沿岸に幅広く生息する体長約三ミリの米粒のような形をした虫で、昼間は砂の中で生活し、夜間に海中に出て活動しています。外敵が襲ってきたときの威嚇として、青紫色に発光する物質を出します。星空を

観測するときと同じような、明かりのない、静かできれいな海辺でないと見るのができません。

観賞会では、あらかじめ餌となる魚肉の入った仕掛けを海水に沈めておき、海ホタルを採集。仕掛けに入った海ホタルを浜辺に引き上げると、刺激を受けて青紫色の光を出しました。浜辺は、夜空の星が散りばめられたかのように光り、参加者からは「きれいな！」と歓声が上がりました。

▲仕掛けに入った海ホタルを眺める参加者



▲仕掛けに入った海ホタルを眺める参加者

読書へつながる興味を高める

第4回読書つ子まつりを開催

子どもたちに読書への興味や関心を高めてもらおうと10月21日、「読書つ子まつり」が三原図書館などで行われ、1,200人が訪れました。当日は昔話クイズや人形劇、動物風船づくりなどに親しむ行事が盛りだくさんに行われ、館内は子どもたちの歓声に包まれました。

淡路人形浄瑠璃発祥の地を巡る「まち探検隊」では、初めて淡路人形を遣ったとされる引田源之丞の旧邸跡や淡路人形の守護神がまつられている三条八幡神社脇宮戎社を訪ね、500年の歴史を学びました。



▲淡路人形浄瑠璃発祥の地を巡る「まち探検隊」 (三条八幡神社)

大鐘稔彦医師に 知事表彰

南あわじ市国民健康保険阿那賀診療所院長の大鐘稔彦さん(阿那賀)にこのほど、へき地診療所等勤務医師に対する知事感謝状が贈られました。

大鐘さんは平成十一年一月、同診療所へ十四代目の医師として赴任。以来、七年以上にわたり同診療所に勤務、月・水・金曜日の午後には伊加利診療所でも診察されています。「あらゆる患者さんを診ることをモットーに、この地に骨を埋めるつもりで取り組みます」と意気込みを語られました。

長尾洋之さんに のじぎく賞

人名救助の長尾洋之さん(広田)にこのほど、兵庫県のじぎく賞が伝達されました。

長尾さんは、九月二十日午前五時ごろ慶野松原海岸を散歩中、波打ち際に倒れていた男性を発見、浜に引き上げて救助しました。

安全安心のまちづくり 功労者に各賞

暴力追放・安全安心まちづくり市民大会が十月十五日、西淡公民館で行われ、次の各賞が贈られました(敬称略)。

市内の治安維持に尽力した警察官を称える、市民の警察官「ゆづるは賞」山内松次朗警部補(福良警部派出所)、矢野毅巡查長(刑事課)

「近畿ブロック暴力追放運動推進センター」連絡協議会表彰「暴力追放福良地区町民会議」(県少年補導員連絡協議会表彰)谷池弘士(津井)「近畿防犯協会連絡協議会表彰」橋本正彦(福良)「全国防犯協会連合会表彰」森丞(同)「県防犯協会連合会表彰」大亦昭(阿那賀)村野保司(福良)、「南あわじ防犯協会表彰」飯田寛治(松帆) 島田孝(市) 藤岡勝平(灘) 原田吉郎(福良) 泊博文(広田)

